

H31(R1)年度 広報	ひゅ～らタイトル
平成31年4月号	ワークとライフをデザインしませんか？ ～暮らしをデザイン2018に参加して～
令和元年5月号	今時の多様な子育てスタイルをかいま聞く
令和元年6月号	“おとう飯（はん）”を始めよう！（内閣府男女共同参画局キャンペーン）
令和元年7月号	安全・安心な暮らしの実現～貧困について考えよう～
令和元年8月号	テレビCMに見る男女の家事分担
令和元年9月号	男女共同参画に関する情報コーナーの活用を
令和元年10月号	男尊女子（酒井順子／著）を読んで
令和元年11月号	暴力のない社会を目指して～児童虐待事件について考える～
令和元年12月号	育児休業は性別を問わず取得できます！
令和2年1月号	スクールセクハラ被害根絶のために
令和2年2月号	オホーツクキャリアデザインフォーラム2020 ～オホーツクで活躍している女性とつながろう～
令和2年3月号	多様な性のあり方に対する取り組みについて



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら ~Human Love~

|| ワークとライフをデザインしませんか？～暮らしをデザイン2018に参加して～ ||

昨年12月に1日限定でエコーセンターにオープンした暮らしカフェで網走、釧路で活躍する女性3名のパネルディスカッションを聞き、ワーク・ライフ・バランスについて考えました。

30代から50代、独身・子育て中・子育て終了と経歴や職種、生活スタイルも異なる3名のパネルに、「私の暮らし方」を教えてくださいました。

共通していた点は、仕事ややりたいことを自分の生活スタイルに当てはめて考えているということでした。「ワーク・ライフ・バランス」と聞くと、「仕事」と「生活」を分けて考えてしまいがちですが、「仕事=生活」と一つのものとして考えることで生活のバランスをとっているそうです。さまざまな生活スタイルが生まれている中で、バランスのとり方もさまざまです。

○あともぎにかえて○

「やりたいことは口に出す・人へ話す」という言葉が強く印象に残りました。そうすることでやりたいことを具体的に考えるきっかけや周りの人に知ってもらえる機会へつながり、さらに協力や周囲の理解を得ることにつながっていくということです。自分がやりたいことだから無理をしてでも自分一人で何とかしようと思いがちですが、周りを頼ることも大切であり、気を張りすぎずに楽しんで生活することがうまくバランスをとるコツだと思いました。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

|| 今どきの多様な子育てスタイルをかいま聞く ||

とあるボランティア先で、老夫婦とその友人たちから今どきの子育て事情について話を聞きました。息子や娘の子育てについて不満ばかりかと思えば、嬉しそうな様子も。いくつか紹介したいと思います。

【週3日だったはずなのに】

「孫の世話を息子に頼まれ週3日の約束で預かったのに、いつの間にかフルタイムになっていた。」「若い人は自分の生活に精一杯で余裕がなく、祖父母が孫の世話をするのは当然だと思っている。」などと、話を聞いてみれば、不満の声が漏れてきました。共働き世帯が増えてきたことで、子どもの世話を祖父母に依頼することが増えてきているようです。また、孫はかわいいとは言っても、孫と遊ぶためには体力的な問題からは逃れることはできないようです。

【父や夫の口癖】

母は私が生まれるとすぐに家庭に入りましたが、

父は「女性も外に出て働かなきゃダメになる」が口癖で、子どもが小さいとき以外はすぐに働きに出たという方も。

「子どもは手をかけなくても育つ」が口癖の夫だったが、子どもに聞かれたことには熱心に答えていたという女性。手をかけなくてもと言いながら、できる限り子育てをしていたことが分かります。

「男は仕事、女は家庭」という言葉が今となっては古い考えとなり、多様なライフスタイルに合わせて子育てスタイルも変化しています。固定概念にとらわれずに自分に合ったスタイルを確立することが現代らしさを表しているのではないのでしょうか。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

|| “おとう飯(はん)”を始めよう!(内閣府男女共同参画局キャンペーン) ||

普段、料理に縁のない男性が手がける、簡単で手間を掛けず、多少見た目が悪くてもおいしい料理を“おとう飯(はん)”と呼びます。

【男性の料理参画】

男性が料理をするにあたっては、「知識や技術がなくて作れない」「家族のために作る料理は、栄養バランスや盛り付けなどに気を遣わなければいけない」「料理を作ってみたものの家族に不評だったため、作るのをやめてしまった」など、技術的、心理的なハードルがあると思われます。

【おとう飯の心得】

- ①手早く、②簡単に、③リーズナブルな食材で、④家の調味料を使い、⑤後片付けは最後まで

おとう飯はこの5つを心得としており、内閣府男女共同参画局のHPでは電子レンジを使った簡単レ

シピからひと手間加えたものまで、全国各地の食材や伝統料理をテーマにしたレシピが紹介されています。→<http://www.gender.go.jp/public/otouhan/recipes/zenkoku.html>

【あともぎにかえて】

おとう飯の5つの心得の最後に「おとう飯 見守っててね おかあはん」とあります。いつも料理をしているお母さんからすると、つつい細かいところまで口を出してしまいそうですが、そこはぐっと堪えてたまには任せてみてください。「おとうはん」の新たな一面が発見できるかもしれませんね。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

~ Human Love ~

|| 安全・安心な暮らしの実現～貧困について考えよう～ ||

「貧困」という言葉からどんなことを思い浮かべますか。非正規労働者やひとり親、単身の高齢者が生活上の困難に陥りやすいことを想像できるでしょうか。

【女性の貧困について】

年代に関わらず、非正規雇用の割合が多いこと、ひとり親であることなど、生活上の困難に陥りやすい女性が増加しているため、貧困を防止するための取り組みが重要です。高齢単身女性の貧困については、高齢期に達するまでの働き方やライフスタイル、男女の置かれた状況の違いが影響しています。

また、配偶者などからの暴力（DV）の問題は、女性の心身を傷つけ、自立にむけた就業や社会参加を困難にしています。

貧困の世代間連鎖を断ち切るためにも、生活困窮

世帯の子どもへの教育支援など、個人のさまざまな生き方に沿った切れ目のない支援が必要です。

男女共同参画の視点に立ち、さまざまな困難な状況に置かれている方が安心して暮らせる環境の整備を進めなければなりません。

【網走市での取り組み】

ひとり親家庭には、自立支援への取り組みとして、親が専門的資格を取得するために必要な費用の一部を助成しています。また、未婚のひとり親に対する支援にも取り組んでいます。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

|| テレビCMに見る男女の家事分担 ||

毎日の家事を負担に思っている多くの人にとって、テレビや新聞で目にする家事の負担を軽減できる商品は大変魅力的です。今回はテレビCMに見る男女の家事分担について考えます。

昭和のCMのほとんどは、家事は女性の役割と決まっているかのように、母親や主婦役の女性タレントが出演しているものでした。

平成に入ってから、男女平等の推進や共働き家庭の増加により、男性も家事をする時代になってきました。夫婦が揃って流し台に立つ設定も増えています。

近年では、家事をしたことがなかった夫が、食器を洗っている妻に「手伝おうか」と声をかけるCMが放送されています。洗剤の汚れ落ちが良くて意外に食器洗いが簡単だったというオチでしたが、「手伝う」という考え方に家事分担の比率が平等ではないことが表れていると言えます。

男女が共に暮らしている場合の家事時間を比較すると女性が圧倒的に長いことがわかっています。

また、令和に入ってからCMには、男性が研究開発した洗濯用洗剤を主婦が使って喜ぶものや若い男性が洗濯する姿を全面に描き、洗濯愛を語り合うというものが放送されています。

未婚率の上昇により生涯一人で暮らす人も増えており、家事は誰もが行うものになってきています。

家事を軽減する商品のCMも多様なライフスタイルに合わせて変化してきているのではないのでしょうか。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

|| 男女共同参画に関する情報コーナーの活用を ||

網走市立図書館の1階にある男女共同参画に関する情報コーナーを知っていますか。

【男女共同参画に関する情報コーナー】

網走市立図書館では、行政機関からの案内や情報、女性情報誌や女性関係図書など男女共同参画に関する書物を幅広く収集し、情報コーナーを設置しています。コーナーには、関係書物を約180冊配架しています。平成30年度中には、7冊の書籍や資料が加わりました。

ジェンダー論など難しい本ばかりが並んでいるような感じがしますが、気軽に読める本もありますので、コーナーを覗いてみてください。男女共同参画に関する情報コーナーの中から1冊を紹介します。

【『夫の扶養からぬけだしたい』ゆむい／著】

イラストレーターゆむいさんが描くエッセイ漫画です。漫画なのでたくさんの字を読むのが苦手な方にも読みやすい本です。主人公の子育て中の専業主婦が復職し、夫の扶養から抜けて自立する決意をします。働くことを選んだ主人公の前に仕事と家事と育児の問題が立ちはだかり、考えさせられる作品です。ぜひ本を手にとってみてはいかがでしょうか。読書から新たな発見があるかもしれません。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

|| 男尊女子（酒井順子／著）を読んで ||

女子校から共学の大学、社会人へと進んだ著者が、時代の変化とともに感じた男女差別の意識について、20のテーマで書いた「男尊女子」を読みました。

【男尊女子とは】

「女は男を立てるもの、女は男を助けるもの」という感覚を持ち、そこに生きがいを感じる女性のこと。気が付かないうちに男尊女子になっているかもしれません。

【身近な男尊女子】

部活動では、男子〇〇部に所属する多くの“女子”マネージャーがいます。彼女たちは同性ではなく男性をサポートしたいという気持ちがあり、著者は、そこに疑問を感じています。女子校で育った著者はさまざまな場面で女性だけで乗り越えてきました。そんな著者も、大学時代はプレイヤーとして男性と一緒に部活動をする中で、男性を頼る、立てることで丸く収まり、一歩引くと楽で面倒なことがないこ

とを学びます。

【当たり前は当たり前じゃない】

男尊女卑や男女差別というと男性が責められがちですが、女性の意識にも目を向けなければなりません。著書の最後に「男尊女卑という言葉に憤りを感じながらも男尊女卑の陰に逃げ込もうとする自分がある」と著者の気持ちが書いてあります。

「男性だから食事代を払ってくれて当たり前」、「女性だから食事を作ってくれて当たり前」などと自分に都合の良いように使ってはいませんか？

男女平等への一歩は、身の回りにある当たり前を見直すことから始まるのかもしれませんが。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

|| 暴力のない社会を目指して～児童虐待事件について考える～ ||

2018年度の統計で、全国の児童相談所が対応した児童虐待件数が約16万件にも及ぶことが発表されました。これは前年の約14万件に引き続き、過去最多を更新するものです。

【児童虐待について】

冒頭の数字を見たときに「どこで?」「そんなに多いの?」と思う方もいると思います。地域性などさまざまな要因はありますが、とても深刻かつ身近な問題です。虐待の内容としては、殴る蹴るなどの身体的な虐待に加えて、暴言や無視をするなどの心理的虐待も増えています。また、児童の前で家族へ暴力をふるう「門前DV」というケースも通報が寄せられているようです。

【児童からのSOSの早期発見に努める】

虐待を受けている児童のSOSは、次のような場面で発信されやすいとされています。

- ・近隣や地域の間（公園・町内会・自治会など）
- ・健康診断、病院（保健所・保健センター、医療機関など）

【あしがきにかえて】

虐待を受けている児童の多くは、決して自分が虐待されているとは言わないそうです。また、それが虐待であるとは認識していないようです。ただ、必ずSOS信号は出ています。その信号を見逃さず、保護につなげていければ救われる命があるかもしれません。周囲の方々の気づきが、早期対応につながります。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

~ Human Love ~

|| 育児休業は性別を問わず取得できます! ||

育児休業は、子が1歳の誕生日を迎えるまで申し出により休業できる制度です。育児を行う労働者が仕事と家庭生活の両立を図られるよう支援することを目的としています。

【男性の育児休業取得率】

平成30年度雇用均等基本調査によると女性が82.2%、男性は6.16%という結果が報告されています。前回調査（平成29年度）より1.02ポイント上昇していますが、男性の取得率は女性よりもまだまだ低い状況で、家事や育児に対して女性の負担が大きいことが課題です。

【育児休業を取得した男性に話を聞きました】

9ヵ月間取得し、育児への参加はもちろんのこと、家事全般を率先して行っていたという男性。

私は育児に専念する経験を通して、育児の難しさを痛感するだけでなく、配偶者の気持ちを考えら

れるようになるなど、とても自分のためになったと感じている。「男性の育休取得率は低い状況ですが、これから育児を迎える方は、家族と、子育てについてたくさん話合ってほしい。もちろん雇用主や同僚の理解も大切。温かく見守ってほしい。」というコメントをいただきました。

【あとがきにかえて】

男性も育休を取得することで育児のスキルアップや良い夫婦関係を築くことにもつながると思います。

取得しやすい職場環境、男性の子育てに挑戦する気持ちが大切だと思いました。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

|| スクールセクハラ被害根絶のために ||

スクールセクハラとは、スクール・セクシャル・ハラスメントの略で、学校内で起きる教師と生徒間、生徒同士の性的なハラスメントを指します。今回は主に教師と生徒間のスクールセクハラについて考えていきたいと思います。

【指導や教育ではなく、ハラスメントの一種です】

教師による、児童や生徒との立場や知識、経験の差を悪用したスクールセクハラは、20年以上前は指導や教育だったと隠蔽、言い逃れされてきました。しかし、最近ではハラスメントと認知されるようになりました。

【スクールセクハラを受けた恐怖は続く】

昨年のニュースでは、約10年～30年前の被害について声をあげるケースが数件ありました。当時学生だった被害者が教師から受けたさまざまなスクールセクハラについて語られたものでした。被害者の方々は皆、当時の被害を言い出せないまま数十年を

過ごしてきたと答えていました。告白できるまでに数十年の期間が必要であるほど、スクールセクハラを受けることが恐怖であることを物語っています。

【あしがきにかえて】

スクールセクハラを受けた方々が声を上げたから明るみになったことであり、泣き寝入りした方も沢山いると思います。声を上げるのはとても勇気がいることだと思いますが、どうか一人で抱え込まずに周りの人に相談してほしい、被害を受ける方が一人でも減ってほしいと心から願っています。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

オホーツクキャリアデザインフォーラム2020
～オホーツクで活躍している女性とつながろう～

オホーツクキャリアデザインネットワーク（OCDN）が主催するキャリアデザインフォーラムに参加しませんか？

【OCDNとは】

オホーツク管内において、キャリア形成や起業を目指す女性たちが共に学び、時に励まし、互いに成長を続けることで地域に活力を生み出し、新しいビジネスを創造する働く女性のためのネットワークです。メンバーの業種は、企業経営者、広告デザイナー、管理栄養士、農業者など業種は多岐にわたります。

【オホーツクキャリアデザインフォーラム2020】

第1部は株式会社オフィスRM代表取締役の今泉マユ子氏の講演です。今泉氏は管理栄養士として企業や保育所などに勤務ののち、起業。自然災害だけでなく、突然の体調不良などに備えた「防災食」を提唱し、レトルト食品や缶詰を使ったレシピ本を出版しています。

第2部ではオホーツクで活躍している女性のお仕事や活動を出展形式で紹介します。起業するまでのストーリーや思いを直接聞いてみませんか？新しい出会いから、目標設定やキャリアパスを描くヒントが見つかるかも知れません。

オホーツクキャリアデザインフォーラム2020
「つながろう」オホーツク女性のおしごと&活動見本市in津別

日時：2020年2月15日（土）午後1時～4時

場所：津別町中央公民館 参加費：無料

※事前申込みが必要です。（氏名・電話番号必須）

申込先：OCDN2015@gmail.com

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員



男女共同参画コーナー

ひゅ〜ら

～ Human Love ～

|| 多様な性のあり方に対する取り組みについて ||

性的マイノリティの方々が抱える困難の解消に向け、教育現場ではさまざまな取り組みが行われています。

【性別によらない名簿】

小中学校時代の出席簿はどんな順番になっていましたか？シニア世代の方は、男女別の生年月日順だったという人が多いのではないのでしょうか。地域や自治体によって違いはありますが、男子の50音順から女子の50音順へと続き、50音順の男女混合名簿へと変わっていったところが多いようです。

現在では混合名簿という名称もなくなり、「性別によらない名簿」と呼ばれています。

【高校入試の性別欄について】

北海道教育委員会は、心と体の性が一致しない

トランスジェンダーなどの生徒に配慮し、今年から道立のすべての高校と中高一貫の中等教育学校の入学願書から性別欄を削除しました。

【あしがきにかえて】

男女の別がわからないと体育の授業はどうするのか、トイレはどう使い分けするのかなど、気になるところはたくさんありますが、性的マイノリティの生徒の心情に配慮したきめ細かな対応が求められた結果であり、このことは大きな一歩だと思います。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員